



京都高齢者大学校

北近畿校 通信

(運営委員会ニュース改め)

第2号 2017年12月

北近畿校運営委員会

事務局発行

興味の深まる講座続く!

もっと もっと 学ぶ楽しさを広げよう!

時事講座 第3回 11/21(火)

講座内容:「半世紀ぶりに激動する世界」

講師:鈴木元 氏

第3回目の時事講座は、第1回講座「半世紀ぶりに激動する世界」の(下)として、大国として復活するロシア、中国について、日本人に感心がある問題に焦点をあて、国際ジャーナリストの鈴木元様に講義をいただきました。ロシア革命100周年、医療教育の無料化などその先進性とその後の崩壊。第2次大戦のナチスの進行で2千7百万人が殺されたこと、その終結にかかるルーズベルト、チャーチル、スターリンのヤルタ会談と領土問題と抑留問題。そして、歴史的に大国であった中国の歴史の見方と現在の経済発展やその民族性を、受講生の固定観念を覆す事実や日本政府の将来戦略のない実情との比較などで、まさに「世界史の発展と日本」を考えさせられる大変面白い講義でした。



「日本優位の固定観念を覆す視点で大変面白かった」「こういうことをもっと知らなあかん」

受講生の感想

「中国という大国の本質がよくわかった。日本も目先でなく将来を見据えた経済戦略、戦争しない憲法に基づくしっかりした戦略を持たなければだめになると思った」

「千島の問題は多少知っていたが、ナチスのソ連侵攻や西欧の抑留対応などの事実を知り、目の鱗がとれる面白い講義でした」

ひとこと感想 お帰りに切り取ってお出してください

今日の講座は 月 日 (○をつけてください⇒) 時事講座 歴史講座 健康講座

今日の講座はいかがでしたか

よろしければお名前 (

) 無記名でもかまいません

歴史講座 第3回 11/15(水)

講座内容：「天橋立の今昔」

講師：森島康雄 氏

(京都府立丹後郷土資料館 資料課長)

講義は、日本三景の1つである天橋立の成り立ち、そして天橋立に対する思いや考え方が大きく変わってきた経緯や要因について、資料に基づいた内容であった。8千～6千年前頃から砂嘴が形成され始め、2千年前頃には松も生え、神話にも登場する神聖な場所として、大昔から崇められてきた。その後も丹後の中心場所として国分寺も建立され、長い間、人々の信仰や憧憬の地となっていた。江戸時代には、内海で漁師達が漁業不振のため天橋立切断を願い出たが、従来から人々の信仰や名所の場所のため不許可になっている。その後、大正に入り天橋立駅が開業され、「股のぞき」等で観光に力を入れ、現在では年間180万人の観光客が訪れる名所となっているが、その歴史は長い間神聖な場所であった事を忘れてはならないと思った。

昔の絵を見ると、橋立は横に書かれていた。ところがある時期から紙を縦に使う絵になっていったとか。遠近感とか迫力がちがうね。来年、絵画講座ができないかという意見もあるけど、歴史の講座でもこういう切り口の話が出てくるんや。目が離せませんな。

受講生の感想

「病気の9割は歩くだけでなおる」という本の紹介。最近プチウツがちの妻が歩き出した。しかたがない、一緒に歩いてやるか。

健康講座 第3回 11/16(木)

講座内容：「ヘルスツーリズムのすすめ」

講師：芦田信之 氏

第3回目、当初の予定は「実習まちあるき」となっていたため、受付で「今日は歩くんですよ！」とスタイルもばっちり決めて、やる気満々の受講者も多数...残念!座学でした。与謝野町での「よさのみらい大学」の取り組みを紹介しながら、「運動・栄養・休養・医療+観光ツーリズム」でここ福知山での産業おこしもできるのではないか、と夢のあるお話。旅行という非日常の中で、健康回復・健康増進を図る。里山を歩くことは、自然の中のお金をかけないフィットネスジム。新年度の健康講座のなかで、希望者でこのヘルスツーリズムを組みたいとのことでした。

また、健康増進に良いとされていることでも、科学的根拠に基づいた情報かどうかなどにも注意しようとお話いただきました。



お帰りに切り取ってお出してください

今日で、全5回のうち4回の講座が終了しました。全体を通して、いかがでしたか？